

女性管理職登用・活躍推進事業【高知県】

個別事業費	13,964 千円
交付金額	6,683 千円

地域の実情と課題

- ・県内企業における女性の管理職割合は34.4%(*)であるが、「医療・福祉」分野で高く、業種による差が大きい。「医療・福祉」以外の業種では、女性の管理職割合が半数を大きく下回り、男性が主に意思決定を行っていると言える。
- ・本県における女性管理職登用の現状や課題を的確に把握する必要がある。
(※「R5高知県労働環境等実態調査」より)

事業の特徴

【女性管理職登用促進事業】

- 第1回セミナー:「私らしく活躍するためのセルフケア&コミュニケーション」
・テーマ:ヘルスリテラシーの向上とコミュニケーションスキルの習得
- 第2回セミナー「女性リーダーからヒントを得る！パネルディスカッション」
・テーマ:「私らしいリーダーシップのカタチ」を見つける

【女性活躍推進調査】

- インタビュー調査(定性調査)とアンケート調査(定量調査)を併せた二段階調査を実施
- 結果をもとに有識者会議を開催

事業の効果

【女性管理職登用促進事業】

- ・女性活躍の取組に関心が高く、積極的に進めようとする企業の参加者同士をつなぐ場を設けることができた。

【女性活躍推進調査事業】

○調査結果から見えてきたこと

- ・企業は「男女の能力に差はない」と回答するも実際は昇進に差があり、男女差を埋める取組(昇進支援や育成)も十分でない。
- ・企業は女性管理職が少ない理由を女性自身の意向や意欲と考える傾向がある。
- ・管理職を忌避する理由には「男女差」がある

目的・目標

【目的】

- ・女性就労者への勇気づけ、働きやすい職場づくりの推進、管理職への女性の登用促進を目的に、県内経済団体等と連携し、人材育成およびネットワークづくりを後押しする。
- ・県内企業における女性活躍をさらに推進するため、女性管理職登用の現状や課題把握を目的とした調査を実施し、令和7年度改訂する「女性活躍推進計画」に反映させる。

【目標】エンカレッジセミナーの開催 参加者数:60名 【実績】42名

連携団体

- ・高知県経営者協会(女性委員会)(パネルディスカッションへの登壇等)
- ・(公財)高知県産業振興センター、高知労働局(広報支援)
- ・高知県ワークライフバランス推進認証企業(790社)(県の取組周知)
- ・高知家の女性しごと応援室(広報支援)
- ・高知市(広報支援)

今後の課題

【女性管理職登用促進事業】

- ・女性へのエンカレッジやキャリアイメージの構築と同時に経営層の女性活躍推進への理解が不可欠である。経営層が取組にメリットや効果を感じられるよう、経営層に響く周知、取組の具体化が必要である。

【女性活躍推進調査事業】

- ・女性管理職登用における現状と認識のギャップを企業に正しく理解してもらう必要がある。
- ・管理職になりたい女性が管理職を目指せるよう、モチベーションの維持や育児と仕事が両立できる環境づくりを支援する必要がある。

事業の概要

1 事業目的

- ・女性就労者への勇気づけ(エンカレッジ)、働きやすい職場づくりの推進、管理職への女性の登用促進を目的に県内経済団体等と連携し、人材育成およびネットワークづくりを後押しする。
- ・県内企業の女性管理職登用の現状と課題を把握するための調査を実施する。

2 事業内容

(1)エンカレッジセミナーの開催

○第1回「私らしく活躍するためのセルフケア&コミュニケーション」

【10月9日開催・参加者：21名、アンケート結果：「とても参考になった」75%、「参考になった」25%】

- ・女性のライフステージごとの健康課題を理解することで職場での活躍を支援
- ・若手や関係各所と業務を円滑に進めるためのアサーティブコミュニケーションを習得
- ・ネットワークづくりや意見交換を目的としたグループワークの実施

○第2回「県内企業の女性リーダーからヒントを得る！ロールモデルパネルディスカッション」

【11月25日開催：参加者21名、アンケート結果：「とても参考になった」72%、「参考になった」28%】

- ・県内企業で活躍する女性リーダー3名によるパネルディスカッションを実施
- ・仕事と育児をどう両立しながらリーダーになったのか、そのヒントを学ぶ
- ・ネットワークづくりや意見交換を目的としたグループワークの実施

(2) 県内企業の女性管理職登用の現状と課題を把握するための調査を実施

- ・インタビュー調査(定性調査)とアンケート調査(定量調査)を併せた二段階調査を実施
- ・結果をもとに有識者会議を開催



3 事業効果

【女性管理職登用促進事業】

女性活躍の取組に関心が高く、積極的に進めようとする企業の参加者同士をつなぐことができた。(ネットワークづくり)

【女性活躍推進調査事業】

調査から、女性管理職登用にに関して企業の「現状」と「認識」には乖離があることが分かった。女性へのエンカレッジも継続して必要であることが明らかになった。



第1回セミナーの様子



第2回セミナーの様子